

19 すわじんじや 諏訪神社

鎌倉時代の初期、この辺りを統治していた工藤氏により信州諏訪明神の分祀を受け建立された。当時は現在地より北側にあって、戦国時代二度も消失し、その都度氏子が御神体を守り、社のない期間を経て現在地に移った。境内には山王社もある。祭神：建御名方命(タケミナカノミコト)

21 きしぼん 鬼子母神

この御堂は千葉県中山鬼子母神の分神であり、主として日蓮宗の信者が多いようである。平成元年の区画整理に伴って安藤宅敷地内に移築され、年3回講中が廻り番で題目を唱えている。

23 いさわいなり 伊澤稻荷

もとは山間に古い小さな社殿がありましたが、区画整理に伴って、伊澤稲荷造営事業完成記念碑にあるように、氏子中の総意に依り、社殿及び鳥居参道等境内整備を行いました。総て、氏子並びに特志者の浄財寄進を仰ぎ平成10年4月に完成しました。

20 うばみょうじん 乳母妙神

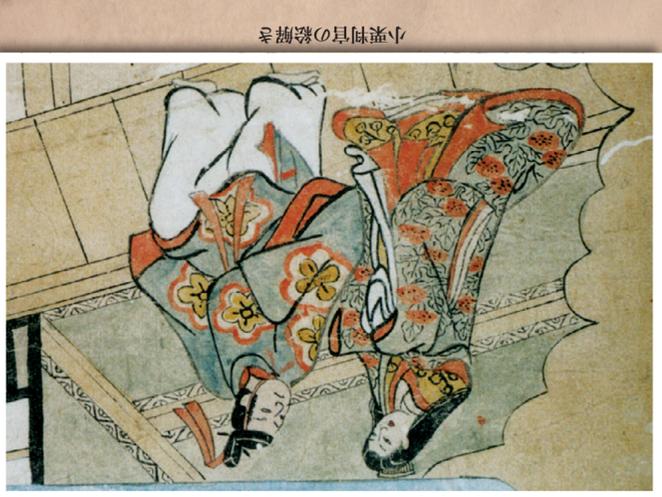
諏訪神社の南西の山間にあり、乳母妙神と発音が難しいので土地の人々は、パンパ神と呼んでいる。ここから出る湧き水を飲むと、乳の出ない産婦から乳が出るようになったり、百日咳の子が飲むと咳が止まるなどのご利益があるという。今は区画整理で現在の場所に移転され、湧水はありません。

22 やくしどう 薬師堂

藤沢市消防第13分団に入って右側二軒目の長島久義宅の庭に薬師堂があり、木造の薬師如来三尊が祀られている。

24 さばじんじや 佐波神社

祭祀の年代は定かでない。戦国時代末期、石川郷で勢力があった、いわゆる六人衆(入内島、西山、田代、伊澤、佐川、市川)によって建立された。文化3年(1808) 鑄造の梵鐘によれば、この神社は鯖神社と記されているが、社前鳥居のそばの奉納碑(文久2年、1862)には佐波神社とあり、この60年余りの間に社名が変わったことになる。祭神・左馬頭義朝(源頼朝の父)



むつあいの名所・田跡カド 歴史と伝説のふるさとマップ

25 むつあいちゆうさくらなみき 六会中桜並木

この桜並木に開かれた地域は、昭和8年に旧横須賀海軍通信隊六会分遣隊が設けられ、高さ約90メートルの鉄塔三基を中心に多数の無線通信用ポールが建っていたところ。昭和10年に亀井野在住の飯島新八氏を中心に、有志の方々が鉄条網に囲まれた用地に趣を添えるために桜の苗木2000本を植樹し育てられたものです。通信隊の跡地に六会中学校が創立され、この桜は校歌にも歌いこまれています。

27 にちだいぼくじょう 日大牧場

キャンパス内にあり、面積は約28ヘクタール。学生の実験・実習や教職員の試験研究に活用されています。なお、学外の農業関係専門家の視察、幼稚園・小中学生や地域住民の見学なども受け入れています。

29 にちだいさくらなみき 日大桜並木

緑豊かなキャンパスの春の桜並木は見事です。

26 にちだいばらえん 日大バラ園

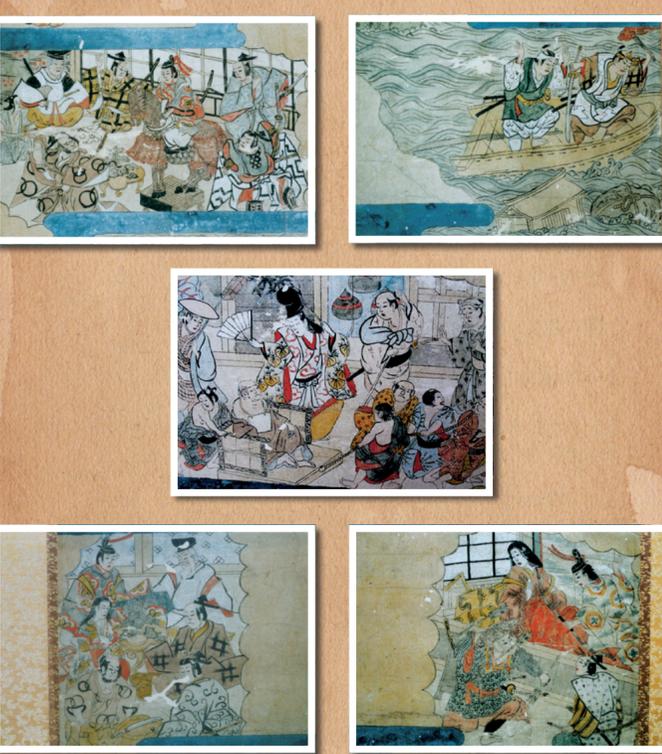
250品種、約900株のバラが無料で一般開放。(5月上旬～7月下旬と10月中旬～11月中旬 10:00～16:00)

28 にちだいほくぶつかん 日大博物館

家畜や野生動物の大型骨格や剥製をはじめ、チョウの標本、古農具や漁具などが展示されている。(入館無料。休館日：月、日、祝日ほか。開館時間：10:00～16:00)

30 にほんだいがくせいぶつしげんかがくぶ 日本大学生物資源科学部

昭和18年に当地に進出して来て広大なキャンパスを有し、農場、動物病院、博物館、バラ園、食品加工実習所を備えている。



発行：藤沢市六会市民センター 編集：六会地区郷土づくり推進会議 住所：藤沢市亀井野4-8-1 電話：0466-81-6677 Copyright：藤沢市 第3版 2017.3.31

むつあい 六会のあゆみ

明治11年、大小区制の廃止と郡区町村編成法の制定によって亀井野、西俣野、石川、円行、今田、下土棚の6ヶ町村組合が設立され、明治22年、村町制の施行により六会村が誕生しました。昭和4年2月には小田急江の島線が開通し六会駅が設置され、交通の便が飛躍的によりなりました。六会村は昭和17年3月、藤沢市と合併するまで約55年間村政を維持、運営してきました。翌年の昭和18年には、日本大学の農学部が開設されました。藤沢市に合併した当時は人口4,996人の農業中心の地域でしたが、昭和30年代の工場誘致などを契機に北部開発、六会・石川東部土地区画整理事業の進捗と小田急線湘南台駅の開設に伴い急激に都市化が進んできました。これからの発展の結果、昭和47年に下土棚が長後地区へ、平成元年には今田、円行の大部分が湘南台地区へそれぞれ移行されました。その結果、石川、亀井野、西俣野と今田、円行の一部が藤沢市の六会地区となり、その後も発展を続け、現在人口は約34,500人の自然に恵まれた宅地と農地が共存する地域となりました。

おぐりはんがみつけ てるてひめ 小栗判官満重と照手姫

京都三条の大臣の子小栗は商人の仲人により相模の国の住人横山大膳の娘照手姫と結婚する約束をえました。ところが、この事を知った横山は腹を立て、あばれ馬の鬼鹿毛に唆せようとした。小栗は馬を乗り廻し、出された碁盤の上ひらりと乗る離れ技を見せました。驚き恐れた横山は小栗と十人の家臣を酒宴に招き毒殺し土葬にしました。一方、照手姫は父横山の手により殺されそうになりましたが、鬼王、鬼次兄弟に助けられ、腰越の沖へ流されました。その後、売られ売られて美濃の国青墓の宿で、名を小萩と改め、水仕女となりました。横山に殺され、地獄に落ちた小栗は、生前善い事を何一つしていない人間で、閻魔大王は助けるわけにはいかないと言いました。しかし、善人で大王に生き返る事を許された十人の家臣は、自分たちの代わり主君である小栗を助けてほしいと大王に願ひ出ました。小栗はこの願ひ出によって助けられ、醜い餓鬼の姿でよみがえりました。人々の情けにより土と木で造った車で熊野の湯へ送り込まれました。そして元気になり、照手姫と対面して幸せになりました。

1 しんめいしや 神明社

地元では神明大神とも呼ばれている。鎌倉権五郎景政及び三浦義澄が崇敬し社殿を改修したと伝えられている。寛政4年(1792)と明治4年に再建され、更に昭和48年に改修されている。社殿入口の両側には寛永時代の古い庚申塔が並んでいる。祭神：大日露貴尊(オオヒルメムチノミコト)

3 みたけじんじや 御嶽神社

社伝によると建久6年(1192)11月の勧請となっている。この時代から神仏習合が始まり、神礼寺、続いて文殊院が同一境内にあったが、明治元年、神仏分離により両寺は消えて神社だけが残った。この社地には平安時代、鎌倉権五郎景政が大日堂を永久5年(1117)建立したと伝えられている。祭神：日本武尊(ヤマトタケルノミコト)

5 かおういん 花應院

慶長8年(1604)創建と伝わり、もとは鎌倉植木村龍寶寺末でした。江戸時代後期、近くにあった閻魔堂の火災で運び込まれた閻魔大王像(像高104cm、体内仏であった像高24.5cm)の閻魔大王石像は藤沢市の文化財。室町後期か桃山期)を祀り、途絶えていた地獄変相十王図、小栗判官縁起絵図のご開帳と小栗判官の絵解きが毎年1月と8月の16日に行われています。宗派：曹洞宗 山号：西嶺山 御本尊：聖観音菩薩 開基：祖桂

2 こみたけじんじや 小御嶽神社

文永3年(1266)別当神礼寺が建立。元禄13年(1700)、天明2年(1782)再建、昭和26年、氏子10軒により再建されました。神明社の氏子から離れて奉祀されたと言われています。

4 さるたひこだいじんのせきびじょう 猿田彦大神の石廟

この石廟は延宝8年(1680)造立され、天明6年(1786)に修復されたことが銘文によって知られている。四柱間の前面扉及び石廟の三面壁には花徳院、文殊院以下、村民48名の助縁者名が刻みこまれている。この石廟の屋根には二匹の猿が陽刻されている。昭和40年5月より藤沢市の指定文化財になる。

6 ごぜがふちのひとどてばんさま 替女淵の碑と土堤番様

替女とは盲目の旅芸人のことで、大正時代まで各地を巡っていた。昔の境川は曲がりくねり、大雨にあえば堤防は決壊して水田を水浸しにし、そのために深い淵ができた。ある時、替女がその淵に落ちて溺死したことから替女淵と呼ぶようになった。この淵で、ある浪士が弘化2年(1845)に投身自殺をした。その間際に「投身自殺をすれば村人に迷惑をかけるが、その代わりに人柱となって堤防を守る」と言い置きた。村人は、この浪士を土堤番様と称し供養した。

7 えんまどうあと(ほうおういんじょうほうどうあと) 閻魔堂跡(法王院十王堂跡)

法王院十王堂、通称「閻魔堂」は慶長5年(1600)の建立といわれ、鎌倉材木座の浄土宗光明寺の末寺、あるいは同系統の藤沢の常光寺の末寺であったという。天保11年(1840)に火災により堂が消失したが、閻魔大王座像・地獄変相十王絵図・小栗判官縁起絵図などは、村の若者たちの手により運び出され、難を免れた。これらの遺産は何れも花徳院に現存する。堂跡には小栗墓塔、土手番様の浪人の墓、歴代住職の墓が残っている。

9 でんししょうおぐりづかのあと 伝承小栗塚之跡

県道403号(蒲菖沢～戸塚)の傍らに小栗塚の碑があり、かつてこの辺りは小栗塚という小字であった。横山大膳に毒殺された小栗判官が土葬にされたという塚があり、冥界への入口として伝承されてきた。現在は、福祉施設「湘南ゆうき村」になっている。

11 つるしまてじんじや 鶴嶋天神社

明治の始め、初代平川公忠氏が神道に入り、この地に牛乘天神を勧請し太宰府天満宮を開きました。三代目の真次氏の時より折袴儀式に鳴動式祈禱法の儀式が行われています。また地神社に合祀の山の神は元はこの丘の上であり、雲石持ちであったようです。祭神：菅原道真 御嶽大神(国常立神、大己貴命、少彦名命)

8 さばだいみょうじん 左馬大明神

祭神は源義朝。「相風記」には「左馬頭義朝の祠なり、神體寺持」と記されている。元は小栗塚の古地にあり、明治の初めに現在地に移されたという。「サバ神社」と呼ばれる神社が、現在境川と引地川の流域に12社散在し、左馬、佐波、鯖、佐婆などの文字が当てられている。

10 すなふるいづか 土震塚

県道403号を挟んで小栗塚の碑の反対側に土震塚がある。地獄へ落ちた小栗判官は閻魔王の許らいて餓鬼の姿となって生き返り、身の土を震い落し塚ができたという。娑婆への出口として伝承されており、榊の古木がある。

12 ぢじんじや 地神社

建立は不明、文政9年(1826)社殿再建の記録があります。宝永4年(1707)富士山大噴火により、このあたり大量の火山灰で困窮した農民救済祈願に当時の地頭であった藤本岡部庄九郎が勧請したと伝えられている。大正12年、関東大震災で社殿は倒壊しましたが同15年に再建。平成4年に新築整備された。明治の神社統合令で亀井野南部山之神地区から移された明和2年(1765)銘の山之神社石廟と秋葉権現社石廟も祀られています。祭神：埴山姫命(ハニヤマヒメノミコト)

13 うんしょうじ 雲昌寺

今から780年前、鎌倉幕府二代目執権北条義時が入道(光輝院瑞龍居士)となった。それに由来して今田・光輝山瑞龍寺が建立されたが慶長元年(1596)7月に火災にあう。その後、龍寶寺住職秋山宗順四世が雲昌寺と改め、亀井野に移す。本尊は如意輪観音。この寺には天正18年(1590)4月に豊臣秀吉直筆の制札がある。この制札は、市内では江の島神社と村岡の小塚源太郎宅しかない。山門の葵の紋は慶安元年(1648)徳川幕府より寺領9石を賜った由来ではなからうか。

15 かめいじんじや 亀井神社

源義経四天王の一人、亀井六郎が祈願して不動堂を建立し、不動明王を祭った。この附近を不動谷と呼び、多くの人が農耕を営み、宝永年間(1704～1711)岡部和泉守が改修したと伝えられている。明治元年、神仏分離により亀井神社と改め、不動尊明王と合祀した。社殿の左側に延宝5年(1677)に建立された経塚がある。この経塚には法華妙典が一石に一字ずつ書かれている。祭神：天阿牟突如命(アマノカクツチノミコト)

17 てんじんじや 天神社

石川寺谷戸と引地川東部の山田地区には、古くから天神社(祭神：菅原道真)と神明社(祭神：天照大神)があったが、昭和46年からの区画整理の際に双方の御神体を合祀して現在地に建立した。

14 ほうせんじ 法泉寺

正頼山法泉寺。この寺の開基は明治初期頃に加藤九一郎氏によるものである。横浜の杉田にあった魔寺法泉寺を現在地に移した。御本尊は日蓮聖人である。境内には最上稲荷社が合祀され、また明治7年5月、水行大菩薩女像を建立した。

16 だいにんさいふくこうきわんひ 大震災復興記念碑

大正12年(1922)9月1日伊豆大島東方海底を震源とした関東大震災は1府4県に死者30万人、負傷者100余万人という未曾有の惨事をもたらした。六会地区亀井野も倒壊家屋113戸、死者14名、神社仏閣は全壊という被害を受けた。倒壊した亀井神社の復興に氏子174名が協力して神社を再建した。このことを永久に後世に伝えるために亀井神社境内に建立された。

18 じしょういん 自性院

石川山自性院と号す。慶長16年(1611)地頭中根臨太郎の開基。その一族である中根貞次は徳川秀忠に仕えた人で、元和元年(1615)大坂夏の陣に活躍した人。自分より6年前に妻を亡くし、戒名を自性院心月真法大師ということから、川の対岸にあったといわれる竜見寺を現地に移し、中根家菩提を引自性院となる。

歴史と伝説のふるさとマップ

むつあいの名所・旧跡ガイド

俣野地区ハイキングコース 所要時間：118分

六会日大前駅	10分	12 地神社	20分	11 鶴嶋天神社	22分
1 神明社	10分	2 小御嶽神社	1分	3 御嶽神社	4 猿田彦大神の石廟
8分	5 花應院	5分	6 誓女淵の碑と土堤番様	4分	7 閻魔堂跡
3分	8 左馬大明神	8分	9 伝承小栗塚之跡	1分	10 土震塚
26分	六会日大前駅				

石川地区ハイキングコース 所要時間：147分

六会日大前駅	25分	17 天神社	8分	18 自性院	9分
24 佐波神社	16分	22 薬師堂	14分	19 諏訪神社	6分
20 乳母妙神	7分	21 鬼子母神	14分	23 伊澤稻荷	48分
六会日大前駅					

亀井野地区ハイキングコース 所要時間：100分

六会日大前駅	10分	12 地神社	20分	11 鶴嶋天神社	30分
13 雲昌寺	10分	14 法泉寺	15分	15 亀井神社	16 大震災復興記念碑
15分	六会日大前駅				

日大の桜・バラ園ハイキングコース 所要時間：31分

六会日大前駅	8分	25 六会中桜並木	8分	26 日大バラ園	3分
27 日大牧場	5分	28 日大博物館	2分	29 日大桜並木	5分
六会日大前駅					

